

関西大学

会計専門職 大学院

2026

アカウンティングスクール

GRADUATE SCHOOL OF
KANSAI UNIVERSITY,

SCHOOL OF ACCOUNTANCY

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

MBA
in ACCOUNTANCY

会計専門職大学院の

1

→ P.6 参照

豊富な授業科目

キャリア設計に
最適

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、国際社会やDX化にも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

→ P.14 参照

最適な学修環境

24時間365日
自習室利用

本会計専門職大学院生専用の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

→ P.8・9・13 参照

会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

「会計力」を
実践

4

→ P.21 参照

充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金や貸与奨学金など、豊富な奨学制度を用意しています。

8の魅力

5

→P.11 参照

各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、証券アナリスト、U.S.CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

6

→P.10 参照

主要講義の動画配信

理解できるまで
何度でも

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。



7

→P.11 参照

さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験の対策ができます。
[CPA資格取得支援プログラム]

3年コース・
4年コース

8

→P.23 参照

長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①年間の履修科目を少なくすることで、じっくりと時間をかけて学修できる。②学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留
- 学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。
- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

- 1 教育内容
 - (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、
 - ①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
 - (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
 - (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニング
- 2 学習成果の評価
 - (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
 - (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
 - (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
 - (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士(専門職)の学位を授与します。

- 1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。
- 2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。
- 3 (主体的な態度)

国際化及びIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

三島 徹也

MISHIMA Tetsuya

みなさん、
関西大学会計専門職大学院
(アカウンティングスクール)へようこそ!

関西大学会計専門職大学院は、世界で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人を養成することを目的としています。これは単に知識としての会計を学修するだけでなく、豊かな会計センスや高度な判断・思考能力に加えて、会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務や法律・税務、経営・経済などの個性ある得意分野を身につけることを意味します。私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置し、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。学生が自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリア設計のもとで学修することができます。ほかにも、学生がいつでも学修できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけませんか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

コンテンツ Contents

- 2 会計専門職大学院の8の魅力
- 4 設置の理念
- 5 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 6 カリキュラム
- 7 履修モデル
- 8 講義紹介／インターンシップ体験談
- 10 サポート体制
- 12 在学生・修了生からのメッセージ
- 13 就職支援
- 14 キャンパス・施設紹介
- 16 公認会計士試験合格体験談
- 17 会計専門職体験談
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要
- 23 数字でわかる関大AS／長期履修学生制度

研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 1名 兼任教員 27名
授業形態	昼間開講
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2025年4月現在

会計心 (Accounting Mind) をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

積上げ式の科目群として、「導入科目群」・「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

横軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義 (Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目 (学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2025年度入学生適用カリキュラム>

系 統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
導入科目群	中級商業簿記	中級工業簿記			
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	商取引法 会社法 民法 法人税法 上級税務会計論 上級会社法 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 統計学 ミクロ経済学 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 マクロ経済学
発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	BATIC 演習 IFRS 演習 連結会計論 財務会計各論	コンサルティング実務 DX会計実務	自治体マネジメントと監査 会計検査制度論 内部監査事例研究 不正摘発監査論 国際監査事例研究	民法(債権)	経営学 資本市場論 起業・株式公開事例研究
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習 (ICAEA JAPAN寄附講座)	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断科目	■ 発展科目群《特殊講義(Specific Lecture)》 会計専門職業数学 企業マネジメントと会計 会計専門職キャリア教育			■ 応用・実践科目群 アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践) 修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ	

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記および中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

(1) 基本科目群:16単位

(2) 発展科目群:16単位

(3) 応用・実践科目群:12単位

・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

・単位数

「論文指導 (実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位



会計専門職大学院の
ホームページで
学年暦や時間割を
ご覧いただけます。



研究科紹介

■ 学則

■ 学生数

■ 学年暦

■ 時間割

履修モデル

Course Model

進路やニーズ、個々のレベルに応じた履修が可能

カリキュラム

履修モデル

履修モデル① 【公認会計士】をめざす

〔2025年度入学生適用カリキュラム〕

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 不正摘発監査論	会社法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論	経営学理論 経営戦略・組織論 ミクロ経済学 マクロ経済学
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 実践会計プログラム演習	管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習 (ICAEA JAPAN寄附講座)	企業法判例演習 税務事例研究	
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 監査法人インターンシップ				

POINT

公認会計士短答式試験に合格できる学力を「基本科目群」の履修により修得し、「発展科目群」から公認会計士試験に対応する科目を能動的に選択することで論文式試験に合格できるレベルに到達できる。さらに監査業界のリーダーとして活躍できる考動力を身につけるために、「応用・実践科目群」と個別演習科目等から深く学ぶ。

履修モデル② 【組織内会計専門職】をめざす

〔2025年度入学生適用カリキュラム〕

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	英文会計論 IFRS会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 コンサルティング実務	内部監査論 国際監査基準論 国際監査事例研究	会社法 上級税務会計論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 IFRS事例研究	国際管理会計事例研究	基本監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 企業インターンシップ				

POINT

会計専門職として必要となる基礎的な専門知識を「基本科目群」の履修により修得したうえで、「発展科目群」から自らが得意としたい分野について、国際やIT分野、ならびに「法律・税務系」、「経営・経済系」の中から選択できる。さらに企業や自治体等の組織において専門職として活躍するための高度な実践的能力を「応用・実践科目群」と個別演習等を履修することで修得する。

講義紹介

関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

上級原価計算論

ピックアップ講義

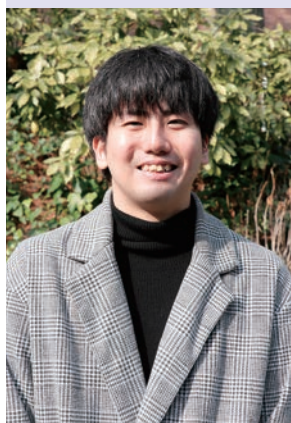


原価計算は、財務諸表を作成する上での基本的な情報を提供します。これに加えて、原価計算は、原価管理や予算管理といったマネジメントに必要な情報を提供します。上級原価計算論では、こうした多様な目的を持つ原価計算に焦点を当て、会計専門職として必要な知識を習得することをめざします。具体的には、個々の計算方法(例えば、材料費・労務費・経費の計算、製造間接費の計算、個別原価計算や総合原価計算、実際原価計算や標準原価計算など)とともに、これらの基礎となる考え方を学修します。

原価計算の学修は、計算問題を解くだけでなく、実際の経営問題を解決するために企業において採用されていることを強く意識して、原価計算の全体像を体系的に理解する必要があります。この授業を通じて、企業の原価計算実務を評価し、必要に応じて新たに提案するといった、会計専門職として求められる能力を高めることができると思います。

教授 坂口 順也 SAKAGUCHI Junya
研究者教員

監査法人インターンシップ体験談



土肥 洸太さん
DOHI Kota
2025年3月修了

有限責任監査法人トーマツ

【実習期間】2024年2月19日(1日)

監査法人インターンシップは、これまでの学修を通して得た監査にまつわる知識が、実際の現場ではどのような形で使われているのかということを知る貴重な機会です。そのため、私は公認会計士をめざすにあたってのモチベーションを高めることができると考え、参加しました。今回は対面ではなく、オンラインでの実施ではありましたが、その分職員の方と直接コミュニケーションをとることができる機会を多数ご用意いただいたので、現場の雰囲気等、多くの学びが得られる有意義な時間だったと感じています。

また、財務諸表の分析において、現職の公認会計士の方々が持つ視点と自分たちが持つ視点が大きく違っていることが印象的でした。財務諸表の分析は5人ほどのグループで相談しながら行い、その後職員の方から講評をいただくという形で行われましたが、業種ごとの特色や勘定科目ごとのつながり、非財務情報との結びつきなど、自分たちにはなかった視点からの財務諸表分析のやり方を学ぶことができました。このインターンシップを通じて、今後の試験に向けたモチベーションが得られたとともに、自らの会計に関する知識の幅が広がったと感じています。

関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

資本市場論

ピックアップ講義



資本市場は、一般的に企業の長期資金調達が行われる市場であり、資金の出し手である投資家、受け手である企業、そして監査人が存在しています。そして、この資本市場では会計が共通言語であり、それをもとに、コーポレート・ファイナンスに代表される企業価値の算定や評価等の手法が確立され、実務で幅広く活用されています。公認会計士をはじめとする会計専門職は、この資本市場において、制度上の役割だけでなく、その知見や専門知識等を活かして様々な役割を担っています。本講義は、資本市場の仕組み等について解説し、そこでの行動原理や理論を理解し活用できることを目的としています。タイムリーな事例や、あらたな潮流である非財務情報なども取り上げ、ダイナミックな資本市場の動きを体感する場でもあります。知識の習得のみならず、グループワークでの事例研究・ディスカッション等により、受講生が様々な角度から資本市場の在り方についての考えを深めることにより、実践力を養成します。皆さんでたくさん議論して実践力を高めていきましょう。

特別任用教授 小林 依子 KOBAYASHI Yoriko
実務家教員：公認会計士

企業インターンシップ体験談



川本 一輝さん
KAWAMOTO Ikki
2年次生

株式会社力ネカ

【実習期間】2024年9月11日～9月18日(土日祝を除く5日間)

会計のプロフェッショナルとしてキャリアを築いていくために、監査法人のみならず、一般事業会社でどのように働いていけるかという視点を持ちたかったため、企業インターンシップに応募しました。また、実習内容が経理業務だけでなく、管理会計を活かした工場実習があった点も応募した理由の一つです。

特に印象に残っている実習は「連結財務諸表の作成」です。世界中に存在するグループ会社とどのように連携して連結財務諸表を作成しているかを学ぶことができました。その中でも一番大切なことは「コミュニケーション」であると感じました。作成過程では様々な問題に直面し、解決までの道のりに必ずコミュニケーションが求められます。人と人の繋がりの意識を改めて持つことができました。

インターンシップへの参加は、普段の学修のイメージを具体化してくれるのみならず、人間的な成長ももたらしてくれる、大変良い経験だったと思います。

※プロフィールの学年は2025年4月時点

サポート体制

入学前

在学中

入学前教育プログラム 入学前

新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。



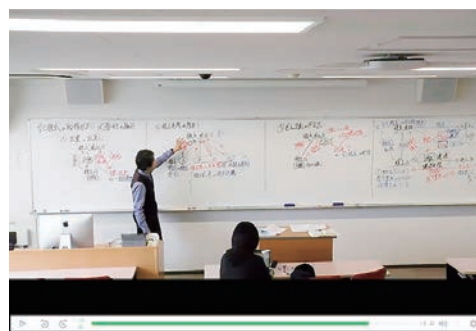
2024年度スクリーニングの様子

動画配信 在学中

履修している基本科目等の主要科目については、パソコン等のデバイスからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。

2024年度 配信科目

- 上級簿記論
- 上級管理会計論
- 上級財務会計論
- 監査制度論
- 上級原価計算論
- 企業法 など



ソリューション 在学中

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識だけではありません。1つの課題に対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。



修了後

課外講座 在学中 修了後

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生の受講者については、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

CPA 資格取得支援プログラム

公認会計士試験(短答式、論文式)に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざします。この講座は「資格の学校TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されます。

受講者のメッセージ



岸本 彩楓さん
KISHIMOTO Ayaka
2年次生

私は、学部生の時に、通信教育で公認会計士試験対策講座を受講していましたが、先輩や先生方からの勧めでCPA資格取得支援プログラムの受講を決意しました。

予備校に通学すると、通学時間もかかりますが、本プログラムは、授業が終わってすぐに教室で対面の講座が受けられることや、授業料や通学費の費用も抑えられることにも大変魅力を感じました。授業のスケジュール上、講座への参加が難しい場合は、受講生同士で協力し合い、ノートを見せてもらったり、授業内容を互いに教授しあったりすることで、試験に必要な知識をインプットもアウトプットもすることができます。また、進行速度や重点ポイントは受講生のレベルに合わせてもらえるため、疑問点を細分化し、苦手分野に特化して強化講義をしてくださる先生もいます。志を異にする者はおらず、同じ志を持つ者同士互いに協力し合い、切磋琢磨しながら精進しています。是非、志を同じくする好敵手達と共に同じ学び舎でお待ちしております！

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

各種試験 修了後

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



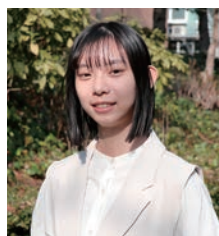
※プロフィールの学年は2025年4月時点

在学生からのメッセージ

The Message from Students

公認会計士試験合格はもちろん

さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。



高子淇さん
KAO Tzuchi
2年次生

私は大学で会計を専攻しており、OG訪問を通じて得た様々な情報から、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選びました。OGの方からは、豊富な知識を持つ教員や実務経験豊かな公認会計士から直接学ぶことができ、学術的かつ実践的なスキルが身につくこと、さらには教員との距離が近く、分からないことがあれば親身になってくれるため、学びやすい環境が整っていると伺いました。本学ASに入学し、実際にOGの方が教えてくださった上記のような環境に身を置いて満足しています。

本学ASは、公認会計士試験に特化した多様な課外講座が揃っている点が非常に魅力的です。私は公認会計士をめざしているため、これらの講座が自分のキャリア形成に大いに役立っています。また、24時間利用可能な自習室が完備されており、いつでも安心して学習に取り組むことができます。

最初は関西弁に戸惑うこともありましたが、授業終了後に配信される動画を何度も繰り返し視聴できたおかげで授業内容の理解を深めることができました。困難に直面した時は、初心を忘れず、自分を信じて目標に向かって進むことの重要性を感じています。

	7:30	9:00	12:10	13:00	16:10	19:30	24:00
主な1日のスケジュール	起床・準備・移動	授業	授業の復習・昼休み	授業	自習	自由時間	

※プロフィールの学年は2025年4月時点

修了生からのメッセージ

The Message from Graduates

公認会計士・監査法人以外でも

多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。



村尾 萌さん
MURAO Moyuru
2023年3月修了

PwC税理士法人 勤務

私は、会計をより専門的に学びたいという思いから大学院への進学を考えていました。その中でも、会計と税務の両面について体系的に学ぶことができ、かつ自習室等の学修環境が優れていることから、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。

本学ASでは、租税法のゼミで修士論文を執筆し、2年間を通して多角的な思考力を養うことができたと感じています。また、1年次に参加した企業インターンシップでは、実際の業務や職場の雰囲気に触れることができ、将来自分がどのように働きたいのかを考えるきっかけとなりました。税理士の仕事が、会計入力や書類作成だけでなく、税務や経営に関する業務相談、さらにはクライアントの日常的な相談まで含まれることを知り、税理士に求められる価値について理解を深めました。

現在は、税理士法人で申告書作成の業務や税務課題に対するコンサルティング業務に従事していますが、これからも本学ASで培った知識や経験を活かして、会計専門職業人として活躍できるよう日々精進していきたいと考えています。



丸石 彩乃さん
MARUIISHI Ayano
2022年3月修了

サントリーホールディングス株式会社 勤務

私は関西大学経済学部在学中に簿記1級を取得し、会計学の学びをもっと深めたいと思ったため、学部3年次に飛び級制度を利用して関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。

本学ASには会計分野に精通した教授がたくさんいらっしゃるのので、自分が勉強したい内容によって、その分野に強い教授のゼミを選択することができます。私は企業経理を志望していたため、ゼミでは志望企業の財務諸表分析やプレゼンテーションなどの演習に取り組みました。そして、先生方から就職活動のアドバイスをいただけたこともあり、第1志望だった企業から内定をいただくことができました。

入社後はいきなり1社の決算を丸々任せてもらえることになりましたが、本学ASで企業会計の取引から決算までの一連の流れを学修していたので、作業背景から理解することができました。中でも経理実務やプログラミング演習などを学ぶ授業は特に活かすことができたと思っています。

専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりするなどの支援も実施しています。



2024年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwC Japan有限責任監査法人、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、三優監査法人、有限責任監査法人トーマツ、太陽有限責任監査法人の7社でした。

■インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去5年間の実績)

監査法人	企業
有限責任監査法人トーマツ	住友精化株式会社
有限責任あずさ監査法人	株式会社力ネカ
EY新日本有限責任監査法人	あすか税理士法人
PwC Japan有限責任監査法人	日本経営ウィル税理士法人
	税理士法人 和

就職状況

在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院＝公認会計士＝監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生のおもな就職先		
●あすか税理士法人	●株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	●Huawei Technologies Co., Ltd.
●大阪国税局	●損害保険ジャパン株式会社	●三菱マテリアル株式会社
●亀田製菓株式会社	●税理士法人 和	●税理士法人山田&パートナーズ
●株式会社コナミデジタルエンタテインメント	●株式会社日本M&Aセンター	●楽天グループ株式会社
●サントリーホールディングス株式会社	●PwC税理士法人	ほか

キャンパス・施設紹介

千里山キャンパス

緑豊かな千里山キャンパス。関西の中心地、大阪駅(梅田駅)から約20分の好立地で、交通アクセスも抜群です。



梅田キャンパス

グループ学習や自習用のスペースとして利用が可能です。



総合図書館

蔵書数は220万冊以上、座席数は2,000席以上と、大学図書館としては全国トップクラスの設備と規模を誇る施設です。



快適な学修環境(第2学舎2号館)

会計専門職大学院の講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。同じ建物内に自習室や食堂もあり、非常に快適な環境で学修することができます。

図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

パソコン教室

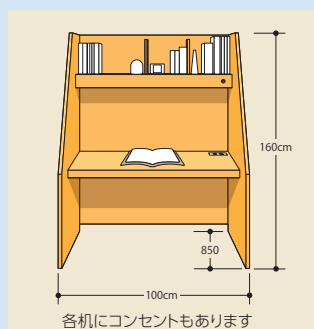


専用のパソコン教室では「基本会計プログラム演習」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

会計専門職大学院自習室



関大AS生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。



もちろん、館内全域でWi-Fi利用可能です



図書閲覧室等に設置されているコピー機では、年間1500枚まで無料コピーが可能です



自習室内には、個人ロッカー(1人2つ)が設置されています

図書資料室



会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。

食堂・コンビニ



授業や自習の合間に、館内から外に出ることなくリフレッシュできます。

講義室・演習室



講義・演習等は、第2学舎2号館を中心 to 実施されます。

VOICE



自習室はICカードで入退室が管理されているので、部外者の立ち入りもなく、夜間も安心して勉強することができます。



自習室のほかにも、総合図書館やパソコン教室などを自由に使えるため、場所を変えながら、集中力を切らさず勉強に励むことができました。

公認会計士試験合格体験談

Experiences



秋竹 駿杜さん

AKITAKE Hayato

関西大学会計専門職大学院での学び

有限責任あずさ監査法人 就職

関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)入学のきっかけは、会計や監査を試験対策のためだけでなく、学問的な視点や実務的な視点からも学びたいと思ったからです。

論文式試験合格前は実務指針を含む会計基準や監査基準の原文に当たる機会が豊富にあり、論文式試験合格の助けとなりました。さらに、判例ベースで学ぶ法人税の講義は租税法の論述を解くために役に立ちました。

合格後の就職活動でも本学ASの講義が役立ちました。具体的には、本学ASではITやTAX,IFRS,IPO,コンサルなど様々な専門分野に関する講義が設けられており、IT分野に高い関心を持ちました。修了後はIT監査部での学びを発揮したいです。

また、監査法人のパートナーやマネージャーのお話は自らの監査人としての理想的な姿勢や態度を決定づけるものとなりました。会社の売上について検討する際に、監査人が直接見るのは仕訳1行、証憑1枚かもしれませんが、その背景には、営業担当者の必死の販売活動や職人の精緻な生産活動があることを肝に銘じて、クライアントの主張を直ちに否定するのではなく、クライアントとの対話を通してアドバイスや指導ができる公認会計士になりたいという理想の監査人像を本学ASでの学びから形成することができました。

2023年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学

2025年 3月 関西大学会計専門職大学院 修了

2022年 6月 公認会計士試験 短答式試験合格

2023年11月 公認会計士試験 論文式試験合格



正木 美帆さん

MASAKI Miho

関西大学会計専門職大学院の魅力

EY新日本有限責任監査法人 就職

私が関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しようと思ったきっかけは、試験対策だけではなく、監査法人入社時のプラスαとなるような、実務に基づく知識を身につけたいと考えたからです。活躍できる会計のプロフェッショナルとなるために、深く会計を学びたいと思い、入学を決意しました。

私は短答式試験合格後に本学ASに入学したので、論文式試験の対策を中心に行いました。

講義では、実務での考え方や背景についても学ぶことができ、本試験では、非定型な論点や予備校では対策が手薄になりがちな論点にも対応できました。理解を重視した講義により、論文式試験1回目で合格することができたので、先生方には本当に感謝しています。

また、オフィスアワーなど、試験委員を経験されている教授の方や、実務家講師の方々とコミュニケーションをとる機会が多い点も魅力の一つであると感じています。

公認会計士をめざす方はぜひ本学ASで学んでいただけたらと思います。

2023年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学

2025年 3月 関西大学会計専門職大学院 修了

2023年 1月 公認会計士試験 短答式試験合格

2023年11月 公認会計士試験 論文式試験合格



西山 由伽子さん

NISHIYAMA Yukako

会計知識を深めるための最高の環境

2年次在学中

私は、より深い会計知識を身につけた公認会計士をめざすため、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学することを決めました。

進学前は主に自宅で勉強していましたが、モチベーションの維持が難しく、効率的に学習することができていないことが多々ありました。その点、本学ASの24時間利用可能な自習室では、非常に静かな環境の中で集中して学習に取り組むことができました。

また、公認会計士をめざす人だけでなく、税理士や一般企業の経理をめざす人にも出会うことができ、目標に向かって進んでいる姿に刺激を受けモチベーションが一層高まりました。

本学ASには公認会計士をはじめ、税理士、実務家、元公認会計士試験委員といった先生による魅力的な講義が豊富に提供されています。本学ASで学んだことは、今後の人生にとって非常に有意義なものになると感じています。

会計についてもっと深く学びたい、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨したいと思う方は、本学ASで学んでいただくことをお勧めします。

2024年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学

2025年 4月 関西大学会計専門職大学院 在学中

2023年 6月 公認会計士試験 短答式試験合格

2024年11月 公認会計士試験 論文式試験合格

※プロフィールの学年は2025年4月時点

会計専門職体験談

Experiences

公認会計士試験合格体験談

会計専門職体験談

PwC Japan有限責任監査法人 Chicago事務所 勤務 PricewaterhouseCoopers LLP

国際的に活躍できる公認会計士になることをめざして

末吉 加奈さん SUEYOSHI Kana 2018年3月修了

私は国際的に活躍できる公認会計士になることをめざし、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。本学AS修了後は、PwCあらた有限責任監査法人(現PwC Japan有限責任監査法人)に就職し、東京事務所にてグローバル企業の監査を担当しました。本学AS在学中に学んだ会計や監査の知識が実務に直結することも多く、監査チームやクライアントと議論する際の基礎となりました。

入社3年目からは海外赴任候補者としてコミュニケーション研修に参加し、海外赴任に向けた準備を始めました。そして、2023年9月から2年間、アメリカのシカゴ事務所に駐在し、アメリカ中西部に所在する日本企業の子会社の財務諸表監査を担当しています。具体的には、親会社の監査チームからインストラクションを受けて行うグループ監査と銀行への提出等を目的として作成する財務諸表の監査の2種類の監査を行っています。このように働く環境や一緒に働くメンバーが変わっても、監査基準や会計基準が世界共通言語としてあり、日本で学んだ知識や経験を生かすことができるため、赴任後すぐに現地の仕事に馴染むことができましたし、それがアメリカという異国の地でも自身の強みになっていると感じます。

グローバル企業が増えるに伴って、国際的に活躍できる公認会計士の需要も高まっています。今後さらに、本学AS進学や海外赴任をめざす方が増えることを祈っています！



三菱UFJ信託銀行 勤務

金融機関で活躍できる会計人材をめざして

伊藤 楓さん ITO Kaede 2024年3月修了

私は大学在学中に簿記一級を取得し、税理士試験の会計科目にも合格しました。この経験を通じて、会計および税務の知識に対する深い興味を持ち、更なる専門性を高めるために関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学を決意しました。本学ASでは、会計税務をはじめ、監査や企業法についても体系的に学べるカリキュラムが整っており、専門知識を深めるための理想的な環境でした。

特に、私は中村教授のゼミを選択し、先生のご指導の下で租税法に関する修士論文を執筆しました。本学ASでは、24時間開放されている自習室を活用できたこともあり、仲間たちと深夜まで共に切磋琢磨しながら修士論文を完成させた経験は、非常に良い思い出です。

本学ASを修了後、私は三菱UFJ信託銀行に就職し、現在は不動産投資法人(J-REIT)の事務受託業務を担当しています。この部署では会計スキルが不可欠であり、公認会計士や税理士の資格を持った同僚や先輩方とともに日々仕事をしているため、常に高いレベルの知識や技術を学び続けています。実務の複雑化に伴い、金融機関で活躍できる公認会計士や税理士の需要がますます高まっていることを実感しており、今後も会計や税務の分野での専門性をさらに高めていきたいと考えています。

私自身、今後も本学ASで学んだ知識を活かし、さらなる成長を遂げるとともに、同じように本学ASや金融機関の道をめざす多くの人々にとって、より良い未来が開けることを心から願っています。



公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

※()内は内数で、在学生合格者数を示す。

合格年度	合格者数	主な就職先
2022年度	10名(4名)	EY新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwC Japan有限責任監査法人、太陽有限責任監査法人 ほか
2023年度	7名(5名)	
2024年度	11名(5名)	

教員スタッフ



大西 靖 教授

ONISHI Yasushi

■ 担当科目

中級工業簿記、上級管理会計論、ソリューション各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』(中央経済社) (共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数



富田 知嗣 教授

TOMITA Satoshi

■ 担当科目

上級財務会計論、会計基準論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- 「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
- 公認会計士
- 主な著書として、『利益平準化のメカニズム』(中央経済社)、『倒産指数』(日本経済新聞社)、発表論文として、『新会計基準による連結予測利益の精度への影響』、『ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—』ほか多数



加藤 久明 教授

KATO Hisaaki

■ 担当科目

中級商業簿記、上級簿記論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- 「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
- 主な著書として、『現代リース会計論』(中央経済社)、『リース会計基準の論理』(税務経理協会) (共著)、発表論文として、『リース会計基準の改定動向に関する分析と検討』、『IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察』ほか多数



中村 繁隆 教授

NAKAMURA Shigetaka

■ 担当科目

法人税法、租税法理論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- 「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学)関西大学の学位取得
- 「課税繰延べ防止策の研究—FIF(Foreign Investment Fund)ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
- 著書として、『教材国際租税法 新版』(慈学社出版) (分担執筆)、発表論文として、『包括的組織再編成条項の理論的側面—米加租税条約13条8項を題材に—』、『The Study on Future Directions of Tax Treaty Policies on Cross-border Corporate Reorganizations in Japan—Focusing on Reorganization Clauses in Bilateral Tax Treaties—』ほか多数



坂口 順也 教授

SAKAGUCHI Junya

■ 担当科目

上級原価計算論、戦略管理会計論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「サプライチェーン・マネジメントが組織間管理会計に与える影響に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 元公認会計士試験委員
- 著書は『組織間マネジメント・コントロール論—取引関係の構築・維持と管理会計—』(中央経済社、日本管理会計学会文献賞・日本原価計算研究学会著作賞受賞)、論文は「The interfirm contracting value of management accounting information」(共著)、『組織間における契約の諸側面とその関連性—組織間マネジメント・コントロールの設計—』(日本原価計算研究学会論文賞受賞)ほか多数



松本 祥尚 教授

MATSUMOTO Yoshinao

■ 担当科目

監査制度論、監査報告論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- 日本監査研究学会理事、日本ガバナンス研究学会理事、国際会計研究学会監事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会副理事長、会計大学院評価機構評価部会委員、企業会計審議会臨時委員、金融審議会専門委員、元公認会計士試験委員(監査論)
- 主な著書として、『ベーシック監査論』(同文館出版) (共著)、『監査報告書論』(中央経済社) (共著)、『監査・証明業務の多様性に関する研究』(日本公認会計士協会出版局) (編著)、『公認会計士の将来像』(同文館出版) (共著)、『会計士監査制度の再構築』(中央経済社) (共著)、『実証的監査理論の構築』(同文館) (共著)ほか多数



三島 徹也 教授

MISHIMA Tetsuya

■ 担当科目
企業法、会社法、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科私法学専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- 主な著書として、『プライマリー会社法(募集株式の発行等、新株予約権、社債)』(法律文化社)、『プライマリー商法総則・商行為法(商業帳簿)』(法律文化社)(いずれも共著)、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任(一)(二完)』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察—ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として』ほか多数



宗岡 徹 教授

MUNEOKA Toru

■ 担当科目
インベストメント論、企業分析論、
ソリューション各科目

■ プロフィール

- 東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- 日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授(現)。(独)医薬品医療機器総合機構監事、東京電機大学客員教授(現)、上場企業の外部取締役(現)、外部監査役(現)等
- 財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員(現)、日本公認会計士協会委員会委員等
- 公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員、システム監査技術者等

オフィシアワー



会計専門職大学院では、「オフィシアワー制度」を設けています。すべての教員が週に一度(90分間)のオフィシアワー時間を設定しており、講義での疑問点や学習方法、進路等について、教員に直接相談することができます。

特別任用教員

乾 将太 准教授

INUI Shota

■ 担当科目
会計制度論、連結会計論*、財務会計論*

■ プロフィール
・ 関西学院大学商学部卒業
・ 公認会計士、税理士
・ EY新日本有限責任監査法人において金商法や会社法等の法定監査のほか、上場支援業務、アドバイザリー業務、地方自治体向けの財務コンサルティング業務に従事のほか、各種セミナー講師等を担当。
・ 乾公認会計士事務所を開設し、税務業務、内部統制構築支援業務、内部監査支援業務、地方公営企業の経営戦略支援業務、会計支援業務等を行う。



香田 加良子 教授

KOUDA Kayoko

■ 担当科目
管理会計論演習、不正摘発監査論、DX会計実務、
内部監査事例研究

■ プロフィール
・ 明治大学文学部卒業
・ 公認会計士、税理士
・ EY新日本有限責任監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、財務調査、アドバイザリー等に従事した後、大手IT企業にてERP導入支援、内部統制評価支援等に従事。その後、香田公認会計士・税理士事務所を開設し、税務、法定監査、農業協同組合検査、内部統制評価支援、財務調査等を行う
・ 2012年からは約12年間、(合)ユー・エス・ジェイの内部監査室長として、内部監査、内部統制評価、社内調査、リスクマネジメント等に従事



小林 依子 教授

KOBAYASHI Yoriko

■ 担当科目
ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、
資本市場論*

■ プロフィール
・ 関西大学経済学部卒業
・ 公認会計士、税理士
・ 大学卒業後、大阪国税局に入局、管内税務署の法人課税部門にて法人税等調査等に従事
・ その後十数年にわたり、有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法、会社法等の法定監査業務のほか、上場支援業務、財務調査、アドバイザリー等の業務に従事
・ 2013年より3年間、任期付国税審判官として大阪国税不服審判所に入所、国税に関する審査請求事件の審査に従事
・ 公認会計士・税理士事務所を開設、監査業務のほか、税務業務、組織再編等支援、価値評価業務等を行う。



田中 基博 教授

TANAKA Motohiro

■ 担当科目
監査基準論、監査事例研究

■ プロフィール
・ 同志社大学法学部卒業
・ 公認会計士
・ 有限責任あずさ監査法人にて監査責任者を務め、多くの企業の財務諸表および内部統制の監査業務に従事。M&Aにおける財務デューデリジェンス業務や、IFRS基準で作成された財務諸表および内部統制の監査業務を経験
・ 主な監査経験業種は、重工業メーカー、鉄道事業、蓄電池メーカー、鉄鋼商社、タイヤメーカー、産業ガスメーカーなど。専務役員を経て、田中基博公認会計士事務所を開設し、監事や監査役に就任



廣田 壽俊 教授

HIROTA Hisatoshi

■ 担当科目
会計専門職業倫理、会計事例研究

■ プロフィール
・ 神戸大学経営学部卒業
・ 公認会計士
・ EY新日本有限責任監査法人にて業務執行社員として様々な業種の会社法監査や金融商品取引法監査、学校法人監査に関与。監査以外に企業向け各種セミナーを管理、日本公認会計士協会常務理事として監査・規律審査会副審査会長を務め、会員の監査業務や倫理規定等への準拠等を検証・検討、日本公認会計士協会近畿会副会長として監査会計委員会や組織内会計士委員会など近畿会各部・委員会の活動・研究等を指揮、その後、公認会計士廣田壽俊事務所を開設し、監査役・監事に就任



教員スタッフ

The Faculty Staff

客員教授



柳瀬 太郎 氏

YANASE Taro

会計検査院
事務総長官房
サイバーセキュリティ・情報化審議官



小林 礼治 氏

KOBAYASHI Reiji

有限責任あずさ監査法人
専務理事(関西地区統轄、大阪事務所長)
公認会計士



竹中 平蔵 氏

TAKENAKA Heizo

慶應義塾大学名誉教授
元国務大臣
世界経済フォーラム(ダボス会議)理事 など



藤沼 亜起 氏

FUJINUMA Tsuguoki

元国際会計士連盟会長
元日本公認会計士協会会長(現相談役)
元中央大学大学院ビジネススクール
特任教授(現CBSフェロー)など

兼任教員・兼任教員

浅野 信博 ASANO Nobuhiro

●現 職 大阪公立大学大学院経営学研究科 教授
●担当科目 英文会計論

岸本 達司 KISHIMOTO Tatsuji

●現 職 新世総合法律事務所／弁護士
●担当科目 企業法判例演習

韓 池 HAN Chi

●現 職 大阪公立大学経済学研究科 教授
●担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

荒井 巖 ARAI Iwao

●現 職 太陽有限責任監査法人／公認会計士／
不動産鑑定士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

吉良 勝明 KIRA Katsuaki

●現 職 公認会計士／税理士／社会保険労務士
●担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

広瀬 憲三 HIROSE Kenzo

●現 職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

新井 康平 ARAI Kohei

●現 職 大阪公立大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論

金 志煥 KIN Shikan

●現 職 金公認会計士事務所／公認会計士／税理士
●担当科目 特殊講義(自治体マネジメントと監査)

古橋 孝志 FURUHASHI Takashi

●現 職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役
●担当科目 企業実践コミュニケーション

飯田 俊治 IIDA Toshiharu

●現 職 EY新日本有限責任監査法人／公認会計士
●担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

久保田 浩文 KUBOTA Hirofumi

●現 職 大手前大学経営学部 教授／公認会計士
●担当科目 組織再編会計論

堀竹 学 HORITAKE Manabu

●現 職 追手門学院大学法学部 教授
●担当科目 民法、特殊講義(民法【債権】)

池上 しのぶ IKEGAMI Shinobu

●現 職 公認会計士
●担当科目 会社経理実務

佐久間 智広 SAKUMA Tomohiro

●現 職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 国際管理会計事例研究

松井 隆雄 MATSUI Takao

●現 職 公認会計士
●担当科目 特殊講義(BATIC演習)

榎本 成一 ENOMOTO Seichi

●現 職 株式会社iBridge Japan 代表取締役／公認会計士
●担当科目 コストマネジメント論

高階 利徳 TAKASHINA Toshinari

●現 職 兵庫県立大学国際商経学部 教授
●担当科目 経営学理論

松尾 精彦 MATSUO Akihiko

●現 職 関西大学経済学部 教授
●担当科目 統計学

郭 雪如 KAKU Yukiko

●現 職 有限責任監査法人トーマツ／公認会計士
●担当科目 IFRS事例研究

筒井 万理子 TSUTSUI Mariko

●現 職 近畿大学経営学部 教授
●担当科目 経営戦略・組織論

安福 健也 YASUFUKU Kenya

●現 職 EY新日本有限責任監査法人／
公認会計士・公認不正検査士
●担当科目 特殊講義(IFRS演習)

笠井 直樹 KASAI Naoki

●現 職 滋賀大学経済学部 准教授
●担当科目 国際監査基準論

戸田 圭亮 TODA Keisuke

●現 職 太陽有限責任監査法人／公認会計士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

山田 善隆 YAMADA Yoshitaka

●現 職 公認会計士(日本・米国)
●担当科目 監査実施論

鎌田 啓貴 KAMATA Keiki

●現 職 鎌田特殊鋼株式会社 相談役
●担当科目 特殊講義(会社専門職キャリア教育)

濱村 純平 HAMAMURA Jumpei

●現 職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 企業価値マネジメント論

弓場 啓司 YUMIBA Keiji

●現 職 公認会計士／一般社団法人国際コンピュータ
利用監査教育協会代表理事
●担当科目 実践監査プログラム演習(ICAIA JAPAN寄附講座)

早川 翔 HAYAKAWA Sho

●現 職 流通科学大学商学部 准教授
●担当科目 管理会計事例研究

●現職は2025年4月現在

●担当科目は、2025年度開講の各教員の担当科目を示す。

学費・諸費/奨学制度

Tuition/Scholarship

教員スタッフ

学費・諸費/奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2026年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種 別	区 分	2026年度		2027年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学 費	入 学 金	260,000円		
	授 業 料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸 費	校 友 会 基 本 会 費	10,000円		20,000円
合 計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第11号に規定する者(飛び入学する者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生在が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」)の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2026年度予定)

学部卒業見込者(飛び級を含む)、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者対象

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者		
ア 公認会計士試験(論文式) 1科目以上合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
入 試 成 績 優 秀 者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または	
	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または	
	年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

② 日本学生支援機構奨学金(2025年度現行)

第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

入試概要

5/19^月 6/14^土 9/27^土 11/15^土 1/29^木

進学説明会 開催予定！

対 面

オンライン



詳細はWebサイトへ

2026年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集 ^{※2}	1月募集 ^{※2}	3月募集 ^{※2}
入試種別 ^{※1} (方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	大 阪			
出願期間 〔締切日消印有効〕	2025年 6月16日(月) } 2025年 6月23日(月)	2025年 9月29日(月) } 2025年10月 6日(月)	2025年12月19日(金) } 2026年 1月 9日(金)	2026年 2月13日(金) } 2026年 2月20日(金)
試験日	2025年 7月 6日(日)	2025年10月19日(日)	2026年 1月25日(日)	2026年 3月 7日(土)
合格者発表日	2025年 7月11日(金)	2025年10月24日(金)	2026年 1月30日(金)	2026年 3月13日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2026年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(簿記および原価計算)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

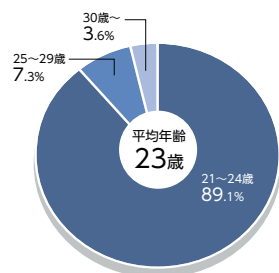
入学試験結果

	2023年度			2024年度			2025年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	136	38	25	155	45	27	137	24	18
学内進学試験	19	19	15	30	29	22	28	22	18
早期卒業者特別入試	1	1	1	4	4	2	1	1	1
公募制推薦入試	6	6	3	10	9	8	7	6	5
指定校推薦入試	2	2	1	4	4	4	14	9	9
留学生別科特別入試	2	2	2	2	1	1	3	0	0
資格取得者・社会人入試	4	2	0	18	15	10	8	4	4
合 計	170	70	47	223	107	74	198	66	55

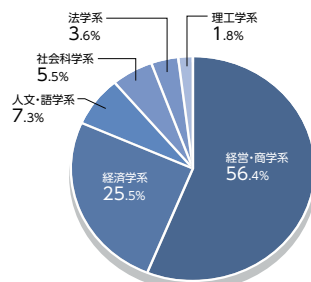
数字でわかる 関大AS

※2025年度新入生55名のデータ

● 平均年齢 ●



● 出身学部 ●



● 男女比率 ●

8 : 2



● 入学時 試験合格状況 ●

公認会計士試験短答式試験 合格者

7名

日商簿記検定 1級合格者

12名

● 関大AS給付奨学金 ●

採用人数



12名

● 社会人経験者 ●



7.3%

※職務経験のある学生の割合

「学部3年+大学院2年」も可能!

大学の学部3年次在学中の方は、10月・1月・3月募集において、早期卒業・飛び級制度を利用した受験が可能です。大学4年次の時間的・経済的負担を軽減して、大学院修了をめざしましょう!

早期卒業

所属大学の早期卒業制度の要件を満たす必要があります。

飛び級

3年次終了時点で退学して大学院へ進学することになり、所属大学から卒業資格は与えられません。

より上位の奨学金への挑戦!

入学試験は年に4回実施します。試験ごとに給付奨学金採用者を決定しますので、より上位の奨学金をめざして、複数回受験することもできます。

仮に先の日程で入学手続(入学登録金の納入)をした場合でも、申し出により、後の日程の手続きに振り替えることが可能です。

※詳細は、2026年度学生募集要項をご確認ください。

長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年 コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目	2年コースの2年次配当科目		
4年 コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

Access Map



関西大学 会計専門職大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試センター 大学院入試グループ
TEL:06-6368-1121 (大代表)
E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/as/>

